

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年1月19日

計画の名称	大館市における自然と調和した潤いのある環境都市の実現			重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度（3年間）	交付対象	大館市	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①大館市の下水道処理人口普及率が49.8%（H27当初）から**55.4%（H29末）**に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

①下水道処理人口普及率
 $\text{下水道を利用できる人口（人）} / \text{総人口（人）} \times 100$

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	

49.8 %	53.1 %	55.4 %	
--------	--------	--------	--

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,798百万円	A	1,798百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A1-1	下水道	過疎	大館市	直接	—	18処理分区（大田面・代野地区ほか）（公共）	汚水管φ200～150、L=7.1km、A=52ha	大館市						594.00			
1-A1-2	下水道	過疎	大館市	直接	—	21処理分区（板子石地区ほか）（公共）	汚水管φ400～150、L=9.4km、A=64ha	大館市						669.00			
1-A1-3	下水道	過疎	大館市	直接	—	9処理分区（象ヶ鼻・狐台地区ほか）（公共）	汚水管φ200～150、L=9.4km、A=69ha	大館市						432.00			
1-A1-4	下水道	過疎	大館市	直接	—	10処理分区（萩の台・池内地区ほか）（公共）	汚水管φ300～150、L=3.6km、A=23ha	大館市						31.00			
1-A1-5	下水道	過疎	大館市	直接	—	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	大館市						18.00			
1-A1-6	下水道	過疎	大館市	直接	—	1処理分区（川口地区）（特環）	汚水管φ250～150、L=16.1km、A=99ha	大館市						54.00			
合計													1798.00				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計																	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

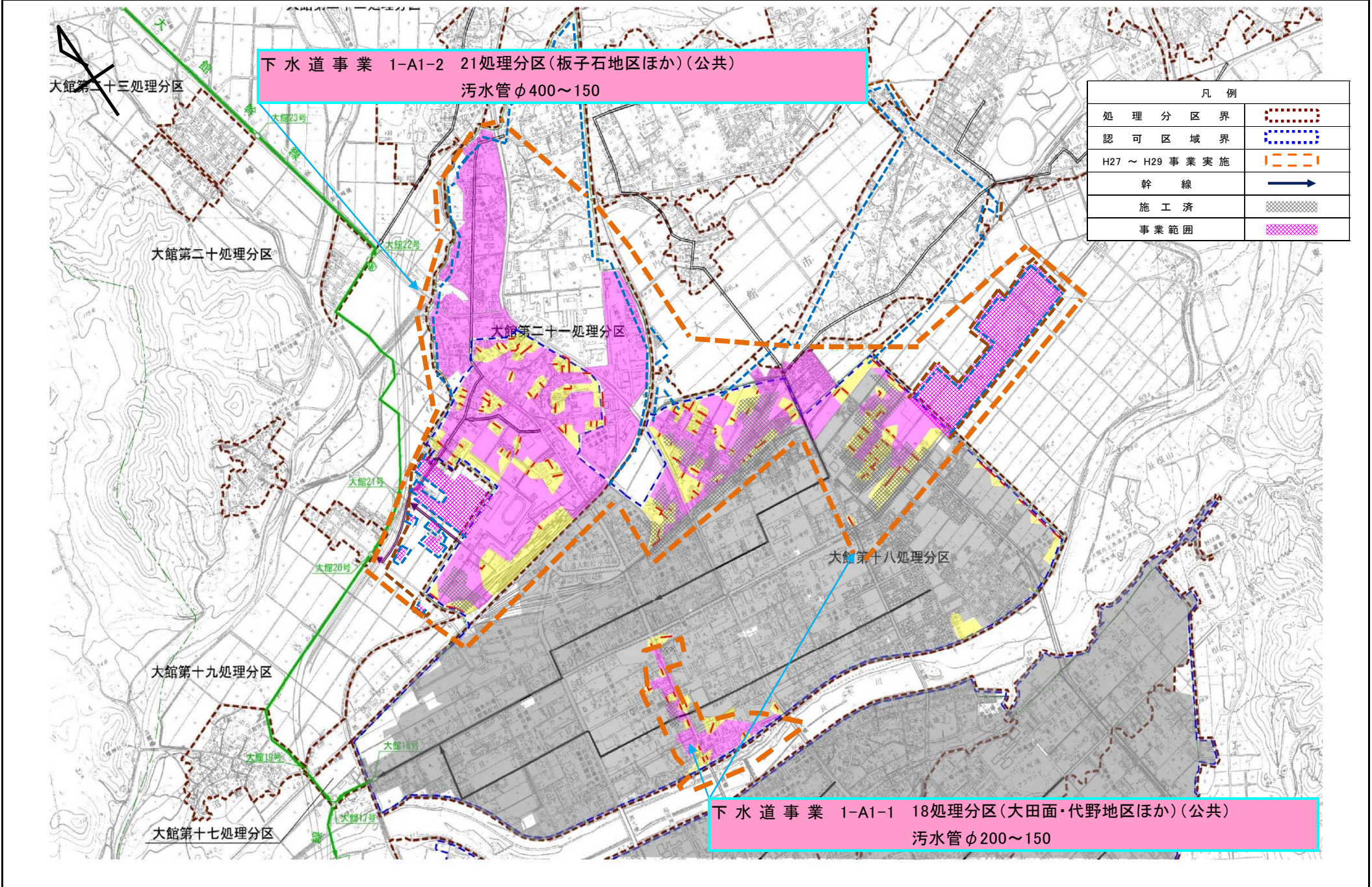
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

交付金の執行状況

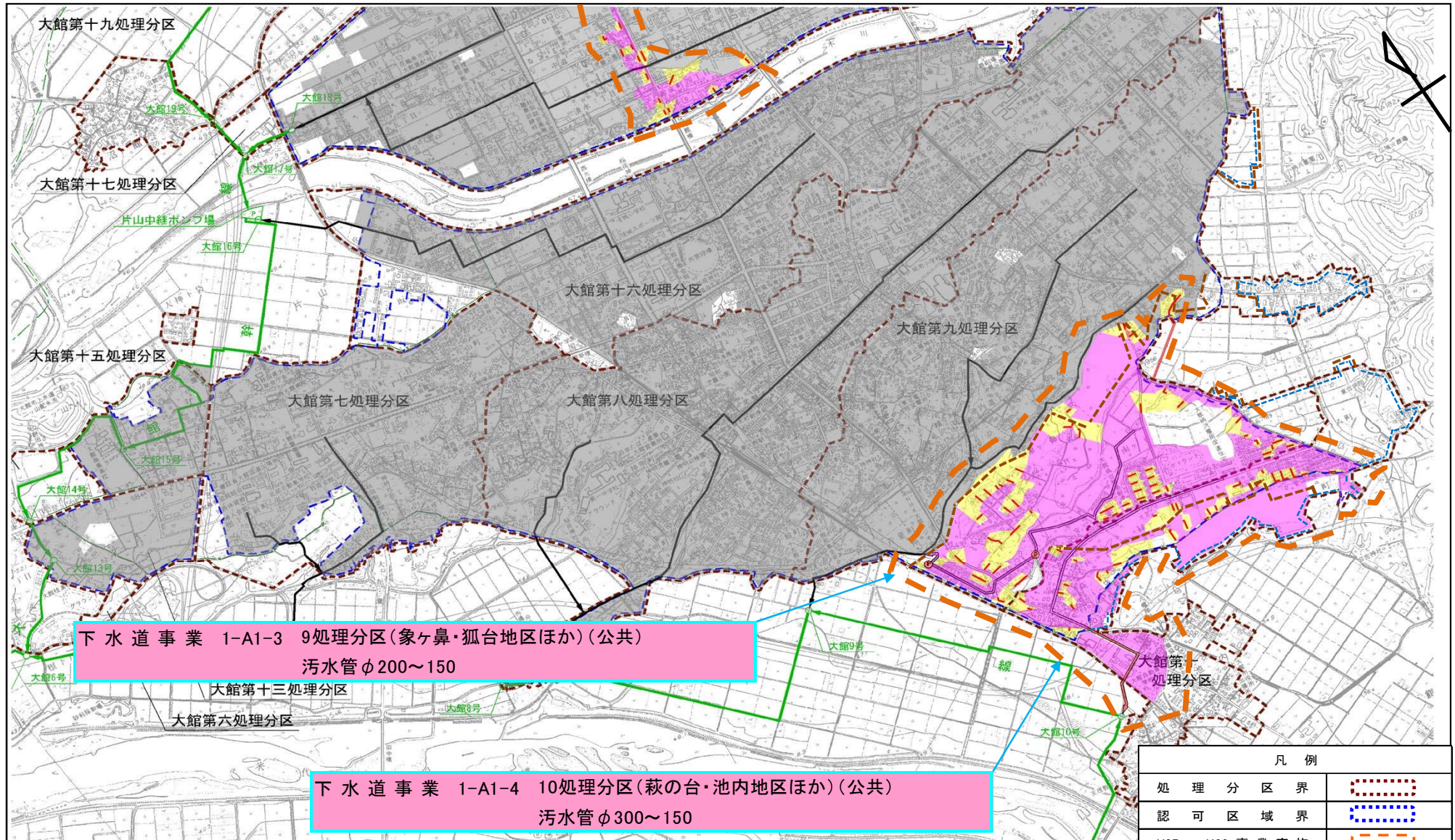
(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	290	290	319		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	290	290	319		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	290	290	312		
翌年度繰越額 (f)	0	0	7		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-		

計画の名称	大館市における自然と調和した潤いのある環境都市の実現		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	大館市 (大館地域①)



計画の名称	大館市における自然と調和した潤いのある環境都市の実現		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	大館市 (大館地域②)

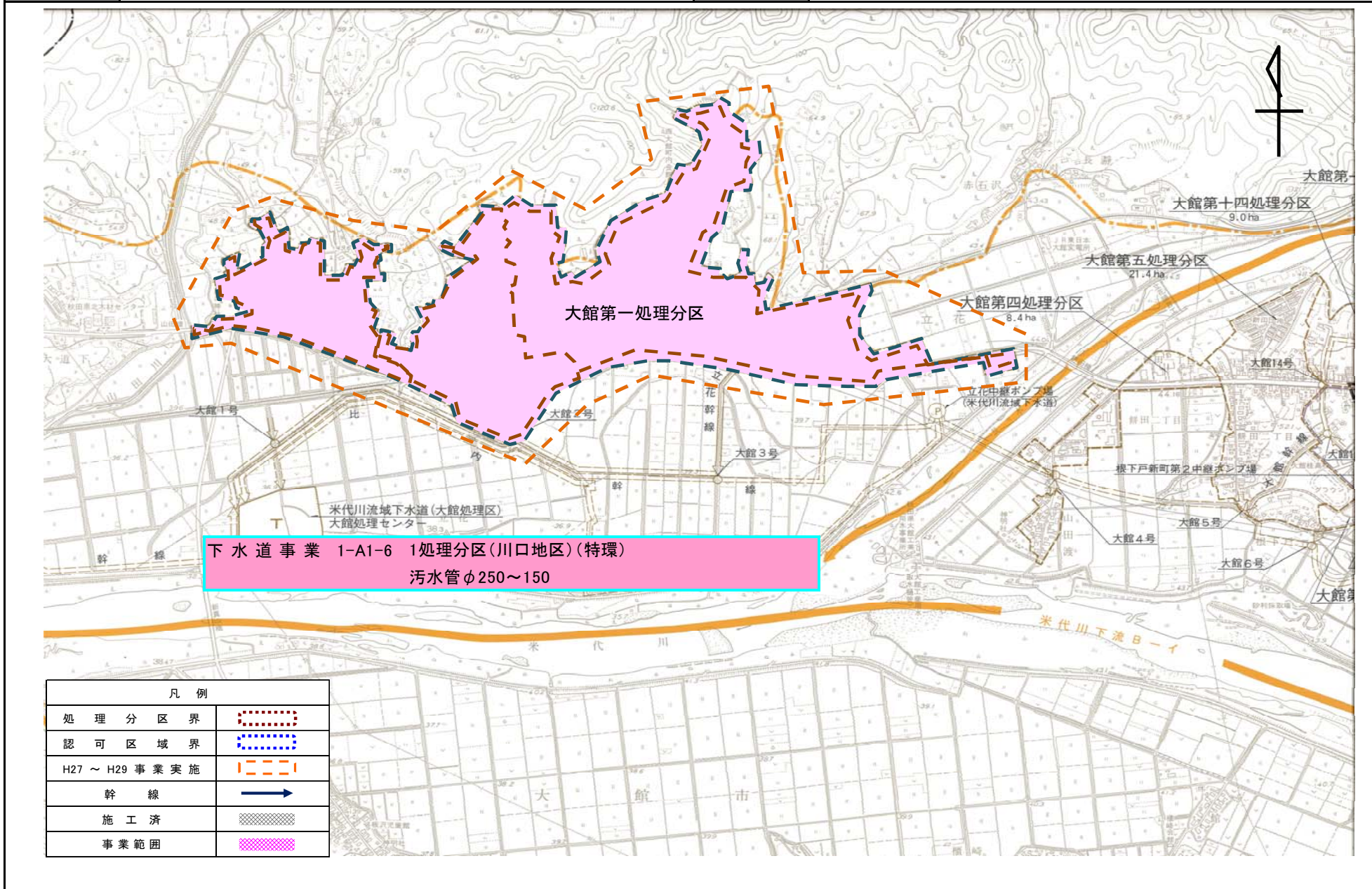


下水道事業 1-A1-3 9処理分区(象ヶ鼻・狐台地区ほか)(公共)
 污水管φ200~150

下水道事業 1-A1-4 10処理分区(萩の台・池内地区ほか)(公共)
 污水管φ300~150

凡例	
処理分区界	
認可区域界	
H27 ~ H29 事業実施	
幹線	
施工済	
事業範囲	

計画の名称	大館市における自然と調和した潤いのある環境都市の実現		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	大館市 (大館地域③)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：大館市における自然と調和した潤いのある環境都市の実現

事業主体名：大館市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)計画の目標が上位計画等と適合している。	○
2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
③事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境整備が図られている。	○
③関連する機関との調整が図られている。	○
⑤地元の熱意	
④事業に向けた機運がある。	○
⑤継続的な事業の展開が見込まれる。	○